

2024年度決算説明資料

2025年5月9日

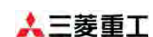
三菱重工業株式会社

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



皆さん、こんにちは。CFOの小澤です。
それでは、24年度決算と25年度の業績見通しの概要について説明します。

目次

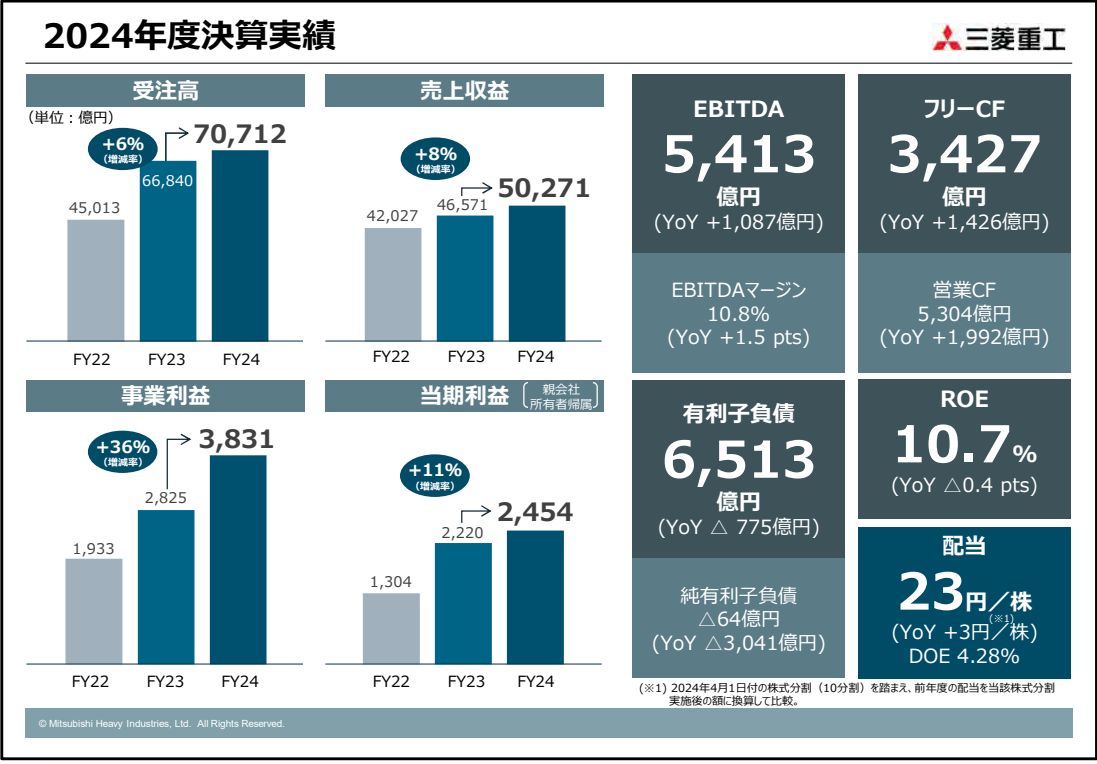


1. 決算のポイント	3-8
2. 2024年度決算実績	9-20
・ 連結経営成績サマリー ・ 連結財政状態、主要財務指標、キャッシュ・フロー ・ 事業利益増減分析 ・ セグメント情報	
3. 2025年度業績見通し	21-28
・ 業績見通しサマリー、ハイライト ・ 事業利益増減分析 ・ 財務指標の推移 ・ セグメント情報	
4. 補足資料	29-34

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

資料の構成は、目次に記載のとおりです。

1. 決算のポイント



初めに、決算実績の全体概要について説明します。

このページでは、主要な財務指標の実績を記載しています。

2024年度決算実績ハイライト



- **受注高、売上収益、当期利益及びフリー・キャッシュ・フローは、過去最高となった**
- **受注高：70,712億円**（前年度比：+3,872億円）
全セグメントにおいて前年度実績を上回る。
主な事業別では、GTCCと製鉄機械が受注を伸ばした
- **売上収益：50,271億円**（前年度比：+3,700億円）
エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年度実績を上回る。
特に防衛・宇宙が、航空機・飛昇体を中心に売上収益を大きく伸ばした
- **事業利益：3,831億円**（前年度比：+1,006億円）
エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年度実績を上回る。
売上増・利益率改善、為替円安影響、土地売却等が寄与し、事業利益は前年度比36%増の3,831億円となった
- **当期利益：2,454億円**（前年度比：+234億円）
事業利益の増加にともない前年度比11%増の2,454億円となった
- フリー・キャッシュ・フローは、前年度比1,426億円増の**3,427億円**となった。
営業キャッシュ・フローは5,304億円、投資キャッシュ・フローは△1,877億円となった
- 配当は、従前公表の一株当たり22円から1円を上乗せした**一株当たり23円**を予定する。
前年度比3円の増配

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページには、主要な財務指標の実績に関する要旨を記載しています。

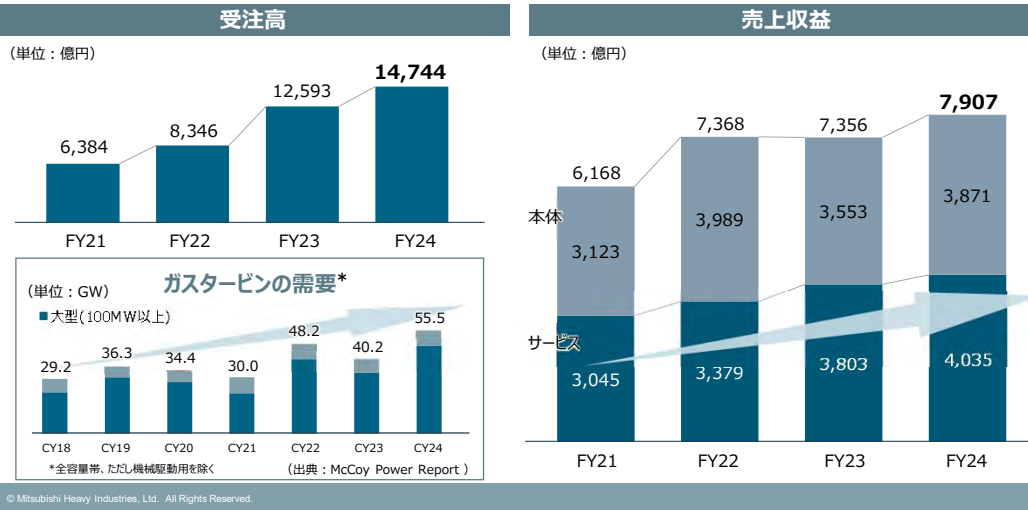
受注高、売上収益、事業利益、当期利益はいずれも前年度実績を上回り、過去最高となりました。フリー・キャッシュ・フローについても、過去最高の3,427億円となりました。また、直近の公表見通し値を全ての項目で上回ることができました。

また、期末配当金を従前公表から1円増額することとし、期末配当としては1株当たり12円、年間では1株当たり23円といたします。前年度の年間配当が株式分割考慮後で20円でしたので、前年度対比では3円、つまり15%の増配となります。この1株当たり配当金の額も過去最高となります。

決算ハイライト – GTCC事業の受注高・売上収益 –



- 石炭火力からの転換、再エネの負荷変動吸収の役割に加え、電力需要自体の伸長も見込まれ、市場拡大
- 大型ガスタービンを25台受注。受注高は、過去最高だった前年度を更に上回った
- 本体受注時に長期アフターサービス契約を締結するケースも多く、将来の売上収益を確保
- ガスタービン主要部品の増産体制を構築中



6ページから8ページにかけて、今回決算でのトピックを記載しています。

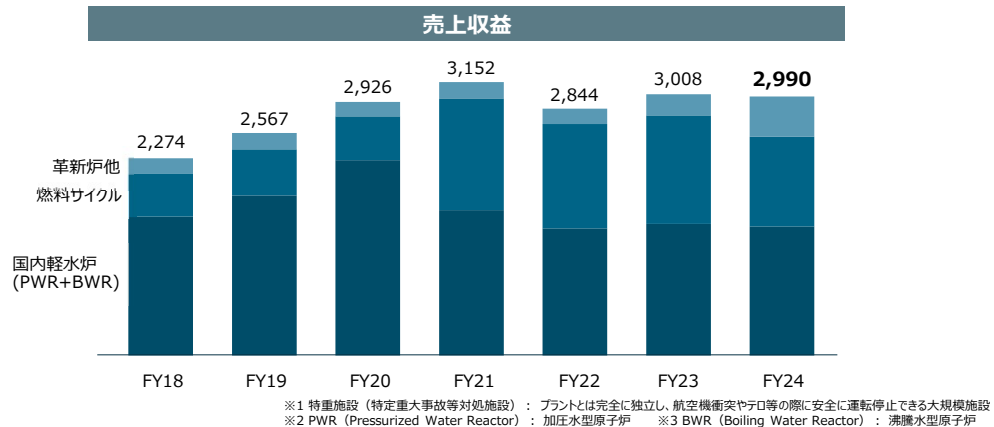
まず初めにGTCCです。左下の枠内の棒グラフに示した暦年ベースのデータでは、2024年の需要は55.5GWと大きく拡大しました。当社は大型ガスタービンを25台受注し、受注高も過去最高を更新しました。資料に記載はありませんが、OEMベースのマーケットシェアとしては、GE Vernovaに次ぐ2位と見ています。

右側のグラフで示した売上収益は、ここ数年の受注の伸びを背景に本体、サービスともに増収傾向を継続しており、25年度も増収を見込んでいます。

決算ハイライト – 原子力事業の売上収益 –



- 国内軽水炉の再稼働・特重施設※¹設置、燃料サイクル施設の竣工に向けた対応を着実に推進し、事業規模は拡大基調
- PWR※²は再稼働後の保全工事等を推進
- BWR※³プラントの再稼働・特重施設設置工事についても、当社工事範囲が拡大し、売上が増加
- 高速炉・高温ガス炉実証炉開発の中核企業に当社が選定され、今後、開発・設計が本格化



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、原子力について記載しています。

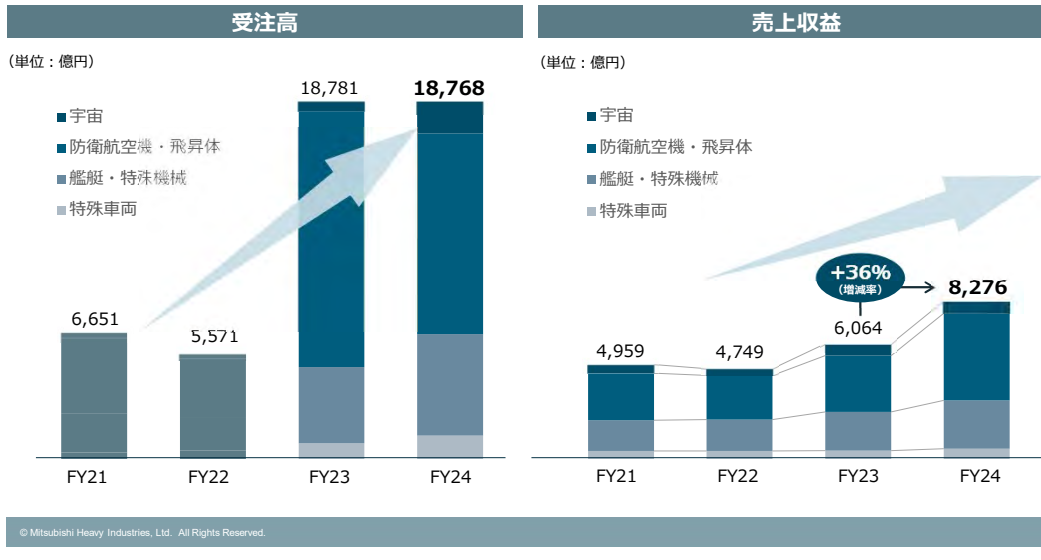
棒グラフの色分けでも見て取れるとおり、売上収益の構成は少しずつ変わってきているものの、2020年度以降、安定的に3,000億円前後の規模で推移しています。

今後、革新炉等の設計進捗やBWRの再稼働対応工事などもあり、当面は3,000億円プラスアルファの規模を維持できるものと見えています。

決算ハイライト – 防衛・宇宙事業の受注高・売上収益 –



- 防空ミサイルシステム関連をはじめとした複数の大型案件を受注。
過去最高となった前年度並みの受注高となった
- 前年度からの受注増加にともない、航空機・飛昇体、艦艇・特殊機械を中心に売上も大幅に増加



このページでは防衛・宇宙の受注高・売上収益を記載しています。

24年度の受注は、過去最高を記録した23年度とほぼ同等の高水準でした。日本政府の防衛力強化という方針のもと、当社の得意とする飛昇体や艦艇などで、複数の大型案件を受注できたことが寄与したものです。

23年度以降の受注増を受けて、売上収益も大きく増加し、2年連続で過去最高となりました。25年度は、さらに伸びると考えています。

2. 2024年度決算実績

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページ以降、決算実績をもう少し詳細に記載しています。

連結経営成績サマリー

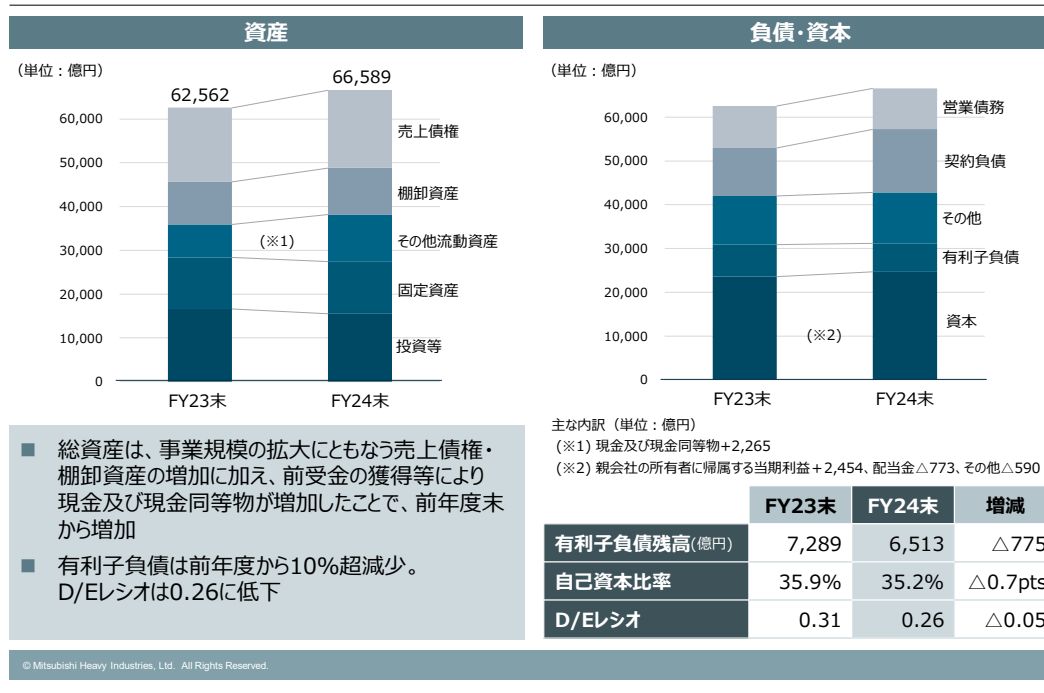


(単位：億円)	FY2023 (利益率)	FY2024 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	66,840	70,712	+3,872	(+5.8%)
売上収益	46,571	50,271	+3,700	(+7.9%)
事業利益	2,825 (6.1%)	3,831 (7.6%)	+1,006 (+1.5 pts)	(+35.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,220 (4.8%)	2,454 (4.9%)	+234 (+0.1 pts)	(+10.6%)
ROE	11.1%	10.7%	△0.4 pts	
EBITDA	4,326 (9.3%)	5,413 (10.8%)	+1,087 (+1.5 pts)	(+25.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	2,001	3,427	+1,426	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページの数表は繰り返しとなりますので、説明は省略します。

連結財政状態



このページには、バランスシートを記載しています。

約4,000億円増加した総資産のうち、2,000億円超が現預金等の増加によるものです。前受金受領等により期末に一時的に現預金等が積み上がったことが要因ではありますが、結果的に期末断面では現預金等は6,578億円となり、有利子負債6,513億円をわずかながら上回りました。現預金等と圧縮したネット有利子負債がマイナスとなったのは初めてのことです。

自己資本比率は35%程度で安定、D/Eレシオも過去最低水準となっており、財務の健全性、資金調達余力は高まってきたと考えています。

連結財政状態



(単位：億円)	FY23末	FY24末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）	16,924	17,765	+841
棚卸資産	9,745	10,625	+879
その他流動資産	7,529	10,725	+3,195
（うち現金及び現金同等物）	(4,312)	(6,578)	(+2,265)
固定資産	11,747	11,953	+205
投資等	16,615	15,519	△1,096
資産合計	62,562	66,589	+4,026
営業債務	9,588	9,302	△286
契約負債	10,951	14,439	+3,488
その他	11,125	11,634	+508
有利子負債	7,289	6,513	△775
資本	23,606	24,698	+1,091
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(22,446)	(23,467)	(+1,020)
負債及び資本合計	62,562	66,589	+4,026

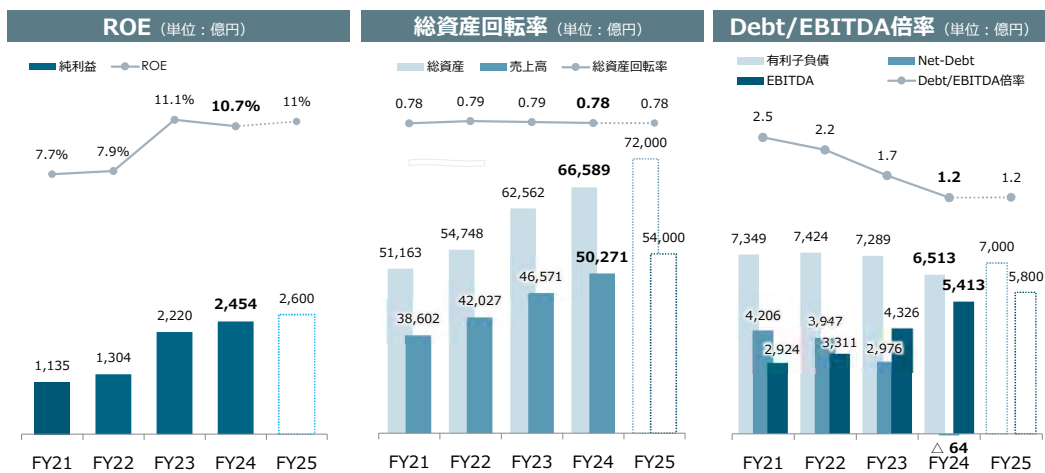
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページではバランスシートの数表を記載していますが、説明は省略します。

主要財務指標 -ROE・総資産回転率・Debt/EBITDA倍率の推移-



- ROEと総資産回転率は概ね前年度と同水準
- Debt/EBITDA倍率は過去最低水準となる1.2倍まで低下。有利子負債の縮減に加え、EBITDAの改善が寄与

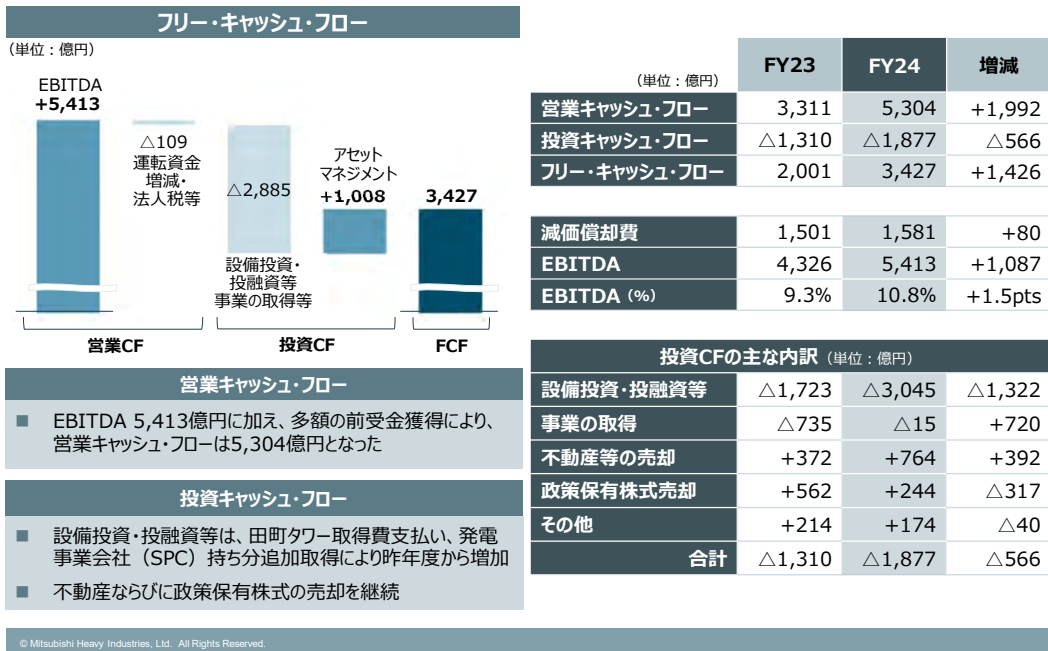


© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、いくつかの財務指標について過去5年間の動きを記載しました。

各指標は安定的に改善しつつあります。

キャッシュ・フロー



このページでは、キャッシュ・フローについて記載しています。

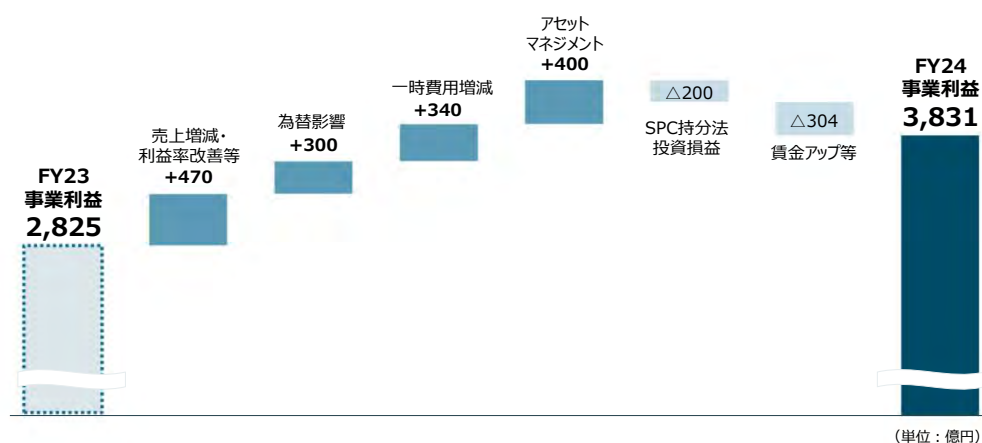
フリー・キャッシュ・フローは前年度から1,426億円改善し、3,427億円となりました。営業キャッシュ・フローの5,304億円とあわせ、いずれも過去最高です。

従前の公表見通しでは0億円としており、それとの対比では約3,000億円の増加です。年度末にかけて受注が大きく伸びたことに伴う前受金等の入金増加に加え、投資の支出時期の後ろ倒しなどもあって、大きく改善しました。

事業利益増減分析



- エナジー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や、利益率改善で増益
- 前年度に計上した航空エンジン事業及び火力事業海外工事案件での一時費用のリバウンドに加え、横浜本牧工場の一部土地売却も増益に貢献



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、前年同期対比での事業利益の増減要因を説明しています。

24年度は賃上げ影響等による利益押し下げ要因等があったものの、各事業での売上増加、利益率改善に加え、為替円安効果やアセット売却益増加などもあり、大幅な増益となりました。

「一時費用増減」について少し補足しますと、これは事業構造改善費用や、主に火力等のプラント事業の遂行に伴う臨時損失などを外出ししているもので、23年度実績540億円と24年度実績200億円との差を示しています。23年度は、航空エンジンプログラム関連の一時損失や、海外プロジェクトでのクレーム対応費用などを計上しました。24年度は、海外プロジェクトのコスト悪化、クレーム対応費用などを計上しています。

「SPC持分法投資損益」は、第3四半期決算でも説明した、発電事業会社において第3四半期に計上された、一時発生費用の負担分です。

決算実績 セグメント別内訳



	受注高			売上収益			事業利益		
	(※1) FY23	FY24	増減	(※1) FY23	FY24	増減	(※1) FY23	FY24	増減
(単位：億円)									
エナジー	24,122	26,224	+2,102	17,236	18,157	+921	1,498	2,053	+554
プラント・インフラ	8,831	10,002	+1,170	8,332	8,521	+188	447	596	+148
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,186	13,305	+118	13,145	13,071	△74	728	493	△234
航空・防衛・宇宙	20,687	21,001	+314	7,915	10,306	+2,390	726	999	+272
その他及び 全社又は消去	12	179	+166	△58	215	+273	△575	△310	+264
合計	66,840	70,712	+3,872	46,571	50,271	+3,700	2,825	3,831	+1,006

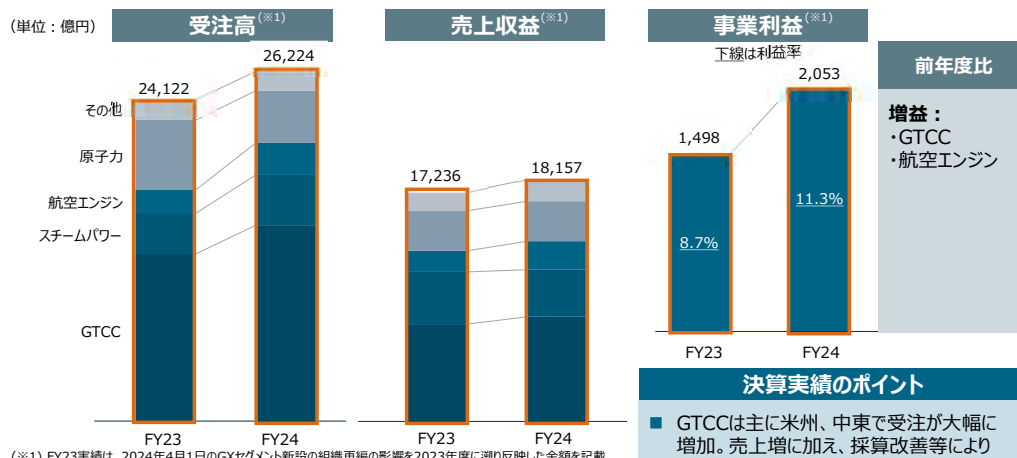
(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページには、セグメント別の受注高、売上収益、事業利益をまとめて表示しています。

次のページ以降で、セグメント別に説明します。

セグメント別決算実績 <エナジー>



主な事業	受注高		売上収益	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
GTCC	12,593	14,744	7,356	7,907
スチームパワー	3,054	3,764	3,898	3,524
航空エンジン	1,727	2,376	1,574	2,123
原子力	5,222	3,908	3,008	2,990

- 決算実績のポイント
- GTCCは主に米州、中東で受注が大幅に増加。売上増に加え、採算改善等により増益
 - 航空エンジンは売上増に加え前年同期に計上した一時費用のリバウンドにより増益
 - 原子力は堅調に推移

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、エナジーの状況を記載しています。

このセグメントの中心であるGTCCと原子力は、先に述べたとおり堅調に推移しています。

航空エンジンは、需要増加に加え、前年度の一時損失からのリバウンドもあり、増収増益となりました。

セグメント別決算実績 <プラント・インフラ>



(単位：億円)

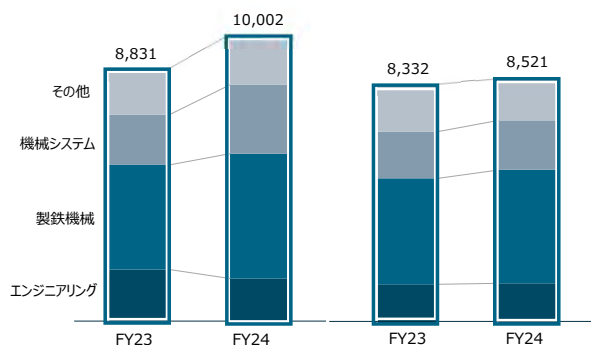
受注高^(※1)

売上収益^(※1)

事業利益^(※1)

下線は利益率

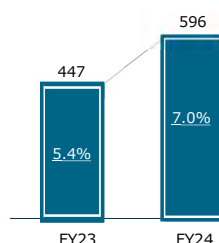
前年度比



(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
エンジニアリング	1,802	1,490
製鉄機械	3,650	4,351
機械システム	1,747	2,390

	売上収益	
	2023年度	2024年度
	1,340	1,378
	3,694	3,952
	1,624	1,723



増益：
・エンジニアリング
・製鉄機械
・機械システム

決算実績のポイント

- 製鉄機械を中心に受注が堅調
- 製鉄機械は売上増、採算改善等により増収増益
- 機械システムは売上増にともない増益

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、プラント・インフラの状況を記載しています。

このセグメントの中核をなす製鉄機械は、受注高、売上収益、事業利益とも前年度からさらに伸びました。

機械システムも、受注増、売上増、増益と堅調に推移しています。

セグメント別決算実績 <物流・冷熱・ドライブシステム>



(単位：億円)

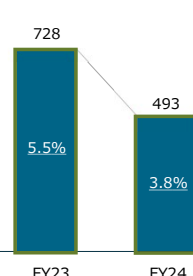
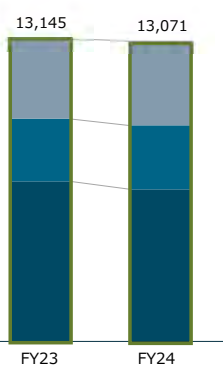
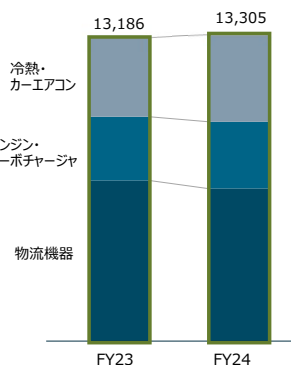
受注高

売上収益

事業利益

下線は利益率

前年度比



増益：
・冷熱

減益：
・物流機器
・ターボチャージャ

決算実績のポイント

- 物流機器は販売台数の減少等により減収減益
- エンジンは中国向けを中心に受注が堅調
- ターボチャージャはサプライチェーンの混乱にともなう費用増により減益
- 冷熱は販売台数増等により増収増益

主な事業	受注高		売上収益	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
物流機器	7,013	6,660	7,013	6,660
エンジン・ターボチャージャ	2,786	2,907	2,731	2,791
冷熱・カーエアコン	3,453	3,818	3,481	3,698

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、物流・冷熱・ドライブシステムの状況を記載しています。

このセグメントにとって、24年度は苦しい年度となりました。受注高、売上収益は前年度並み、事業利益は大幅減益でした。

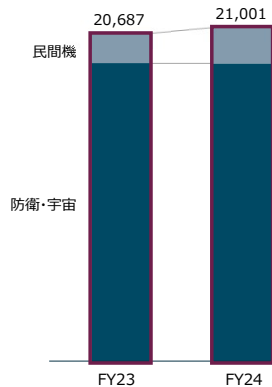
冷熱事業は堅調に推移し、増収増益となったのですが、物流機器は、北米での市場減速にエンジン認証問題も加わり、大きく減収減益となったほか、ターボチャージャ事業では、欧州のサプライヤー破綻に起因する損失を計上したことが大きく影響しました。

セグメント別決算実績 <航空・防衛・宇宙>

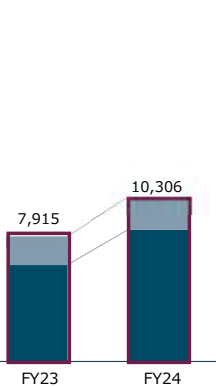


(単位：億円)

受注高

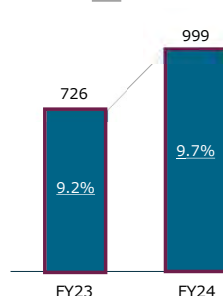


売上収益



事業利益

下線は利益率



前年度比

増益：
・防衛・宇宙

決算実績のポイント

- 防衛・宇宙は、艦艇と宇宙の受注が伸長。順調な工事の進捗、採算改善により増収増益
- 民間機は、777の出荷機数は減少したものの、為替円安影響や北米でのアフターサービス事業の伸長により増収

主な事業	受注高	
	2023年度	2024年度
防衛・宇宙	18,781	18,768
民間機	1,906	2,232

	売上収益	
	2023年度	2024年度
防衛・宇宙	6,064	8,276
民間機	1,851	2,030

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、航空・防衛・宇宙の状況を記載しています。

防衛・宇宙については、先ほど説明した売上増加に加え、利益率も改善傾向にあります。

民間機は、ボーイング777の出荷機数が減少したものの、北米でのアフターマーケットの伸長や為替円安効果もあり、売上規模を確保することができました。

3. 2025年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

従いまして、この業績見通しのみによって投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

なお、今回の業績見通しは、米国関税の影響をアップサイド・ダウンサイドの画面で含んでおりません。

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページからは、25年度の業績見通しについて説明します。

業績見通しサマリー



(単位：億円)	2024年度 (利益率)	2025年度 (利益率)	増減 (利益率)	(増減率)
受注高	70,712	59,000	△11,712	(△16.6%)
売上収益	50,271	54,000	+3,728	(+7.4%)
事業利益	3,831 (7.6%)	4,200 (7.8%)	+368 (+0.2 pts)	(+9.6%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,454 (4.9%)	2,600 (4.8%)	+145 (△0.1 pts)	(+5.9%)
ROE	10.7%	11%	+0.3 pts	
EBITDA	5,413 (10.8%)	5,800 (10.7%)	+386 (△0.1 pts)	(+7.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,427	△2,000	△5,427	
配当	23円 中間11円/期末12円	24円 中間12円/期末12円	前提為替レート： 1ドル=145円、1ユーロ=155円	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、25年度業績見通しの概要を記載しています。

全社の受注高は24年度から落ちるものの、それでも6兆円近くと高い水準を見込んでいます。売上収益、事業利益については増収増益を見込んでいます。

配当は、前年度から1円増加の1株当たり24円を予定しています。

業績見通しハイライト



- 受注5.9兆円、売上5.4兆円、事業利益4,200億円

	受注高	売上収益	事業利益	主なポイント
エネルギー	2.2兆円	1.85兆円	2,400億円	GTCC・航空エンジンを中心に増収増益
プラント・インフラ	0.9兆円	0.85兆円	600億円	受注・売上・利益とも堅調
物流・冷熱・ドライブシステム	1.4兆円	1.40兆円	700億円	物流機器・冷熱の販売台数増を見込む
航空・防衛・宇宙	1.4兆円	1.35兆円	1,400億円	好調な受注を背景に、防衛・宇宙の売上が前年度比30%以上増加

- 当期純利益は、事業利益の増加にともない前年度を上回る2,600億円
- 総資産は、事業規模の伸長にともない、前年度比プラス5,411億円の7.2兆円を見込む
- 配当は、前年度の23円から1円を上乗せした1株当たり24円を予定する
- 上記業績見通しは、米国関税の影響をアップサイド・ダウンサイドの両面で含まず

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、25年度業績見通しのハイライトを記載しています。

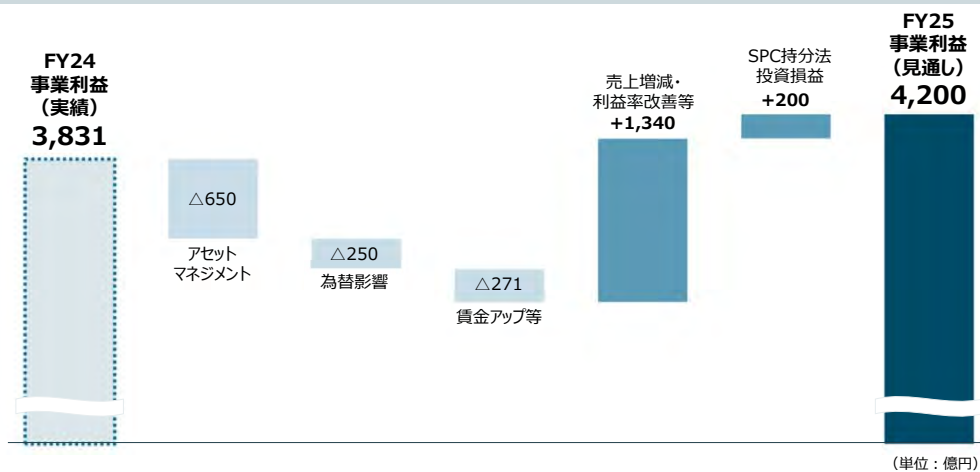
ページの末尾に記述していますが、米国の相互関税等に関する影響は現時点では不透明、評価不能であり、織り込んでいません。

米国で輸入している部品等についてのコストアップが想定されますが、基本的に価格転嫁等により直接的な影響をミニマイズする方針です。間接的な市場動向や景気変動については予測困難ですので、状況に応じて素早く対応すべく取り組んでいきます。

事業利益増減分析



- 前年度の土地売却や為替円安影響の反動、賃金アップを減益要因として織り込み
- エナジー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や、利益率改善、SPC持分法投資損益のリバウンドで増益



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページ以降に、24年度対比の事業利益の増減内容等を記載していますが、説明は省略します。また29ページ以降には、いくつか補足データを載せています。

以上をもちまして、私から決算および業績見通しの説明を終了します。
ありがとうございました。

社長の伊藤です。私からは、24年度決算の評価と25年度の経営方針についてお話しします。

24年度は、受注高、売上収益、事業利益、キャッシュ・フローともに、全体としては年度首の計画を超過達成することができました。特に受注高は当初の計画を大きく上回ることができました。この結果は、これまで取り組んできたサービス事業の拡大、生産性向上などの施策が実を結んだものであり、24事計の初年度として順調な滑り出しができたと評価しています。

一方、足元の事業環境を見渡すと、相互関税政策やインフレの進行等による世界的な景気後退の懸念、為替変動など不透明な状況です。また、再生可能エネルギーだけに依存しない現実的なエナジートランジションへの理解の深まりなど、さまざまな環境変化が生じています。当社は、このような環境変化に柔軟に対応し、不確実性に備えるとともに、新たな事業機会を着実に捕捉していきます。

このような事業環境下で、事業成長と収益力のさらなる強化に向けた各種施策をより力強く推進すべく、Innovative Total Optimizationという新たな概念を導入します。領域拡大とシナジー効果を追求し、短期的には24事計の達成を、中長期的には成長のポテンシャルを解き放ち、新たな価値を創出することで、持続的で大きな成長を実現します。

具体的には、エネルギー、防衛の伸長事業では事業遂行能力を高め、着実に工事を消化していくことが最優先となります。それと同時に、持続的な成長を実現するために、将来に向けた研究開発や設備投資を積極的かつ合理的に実施し、新たな事業機会を着実に捕捉していきます。

成長領域であるエナジートランジションやカーボンニュートラル関連事業は、環境変化により想定よりも市場の立ち上がりが遅れ、顧客の要求も大きく変化しています。これらを踏まえ、社会実装への課題である経済性とエネルギーセキュリティにフォーカスした研究開発を継続、加速し、成長戦略の確度を高めていきます。また、データセンター向けは機電設備の供給事業を開始し、事業を拡大します。

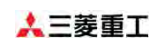
競争力強化事業は、中量産品を中心に事業環境に大きな変化がありました。一部に苦戦している事業がありますが、適切に手を打っており、25年度は改善できると考えています。当初立てた計画の有効性を検証し、個々の事業環境や特性に合うビジネスモデルを開拓していきます。例えば省人化/自動化など、エンドユーザーが求める真のニーズにフォーカスして、顧客バリューチェーンの全体最適化を図る施策を実行していきます。また、デジタル技術を活用することでサービスの高度化を図るなど、新しい事業機会を開拓していきます。

現在、受注残が10兆円を超えました。25年度は、お客様の期待に応える品質とサービスを計画どおりの納期とコストでお届けする年となります。計画達成に向けて着実に実行していきます。また、事業環境の変化に備えて、変化の予兆への即応力を強化していきます。さらに、新しい施策を推進することで、持続的で大きな成長に向けた礎を築いていきます。

この新しい概念、施策については、5月末に予定している24事計進捗説明会で、詳しく説明いたします。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

財務指標の推移



	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	4.2兆円	4.6兆円	5.0兆円	5.4兆円
事業利益率	4.6%	6.1%	7.6%	7.8%
ROE	7.9%	11.1%	10.7%	11%
総資産	5.5兆円	6.3兆円	6.7兆円	7.2兆円
有利子負債	0.7兆円	0.7兆円	0.7兆円	0.7兆円
資本	1.8兆円	2.4兆円	2.5兆円	2.6兆円
D/Eレシオ	0.40	0.31	0.26	0.3
自己資本比率	32%	36%	35%	35%
一株当たり配当金 ^(※1) (株式分割考慮後)	13円	20円	23円	24円

(※1) 一株当たり配当金（株式分割考慮後）は、2024年4月1日の株式分割（10分割）を踏まえ、過年度に遡り調整（分割前配当×1/10）した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

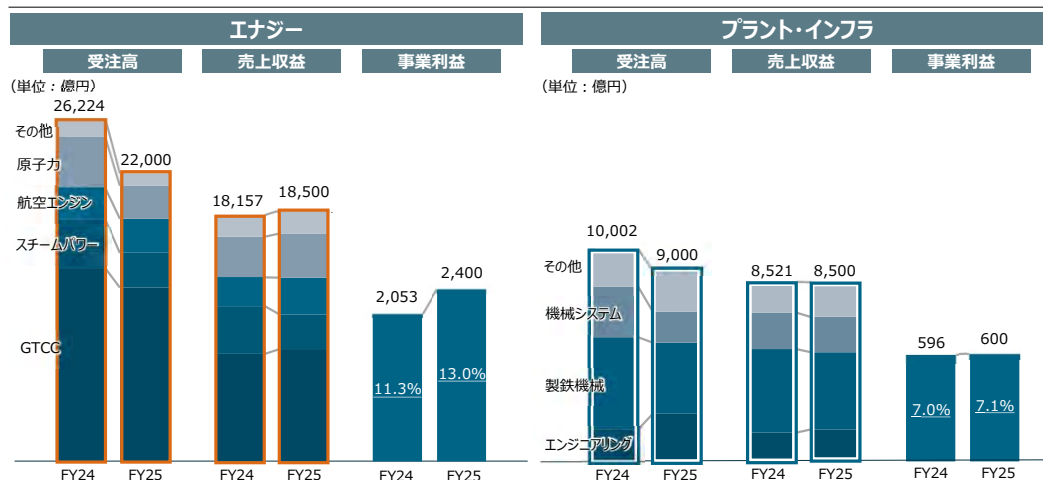
業績見通し セグメント別内訳



(単位：億円)	受注高			売上収益			事業利益		
	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減
エネルギー	26,224	22,000	△4,224	18,157	18,500	+342	2,053	2,400	+346
プラント・インフラ	10,002	9,000	△1,002	8,521	8,500	△21	596	600	+3
物流・冷熱・ ドライブシステム	13,305	14,000	+694	13,071	14,000	+928	493	700	+206
航空・防衛・宇宙	21,001	14,000	△7,001	10,306	13,500	+3,193	999	1,400	+400
その他及び 全社又は消去	179	0	△179	215	△500	△715	△310	△900	△589
合計	70,712	59,000	△11,712	50,271	54,000	+3,728	3,831	4,200	+368

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績見通し <エナジー、プラント・インフラ>



2025年度見通しのポイント

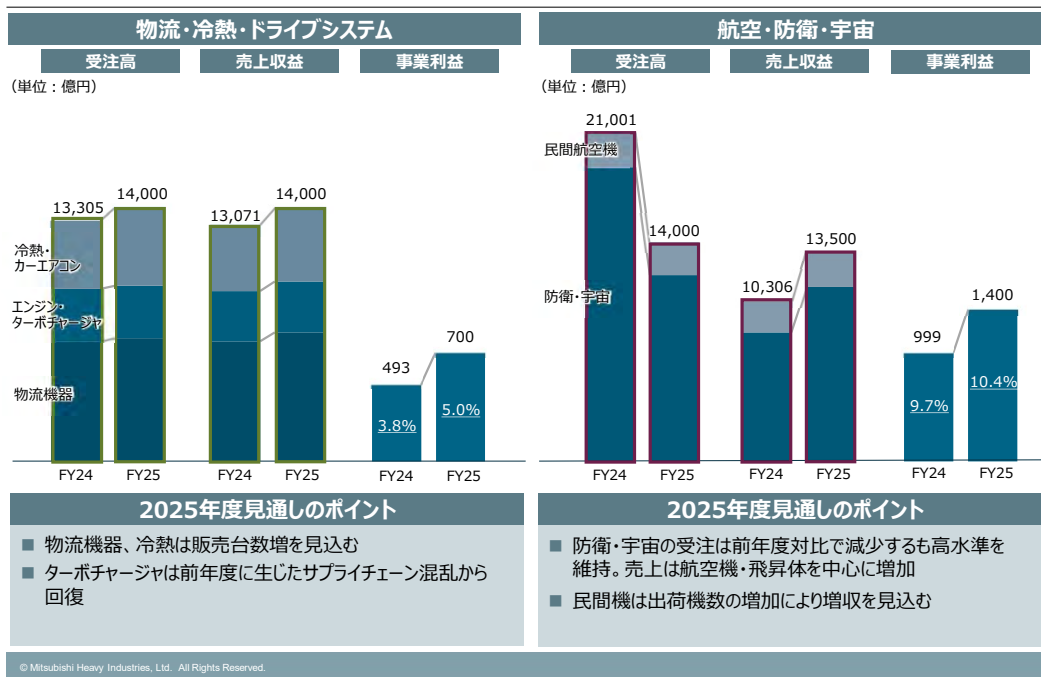
- 受注は、前年度より減少を見込むが、引き続き堅調
- GTCC、航空エンジン及び原子力は、好調な受注を受け増収

2025年度見通しのポイント

- 製鉄機械を中心に過去3年間で積み上げた受注工事を確実に遂行

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別業績見通し <物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙> 三菱重工

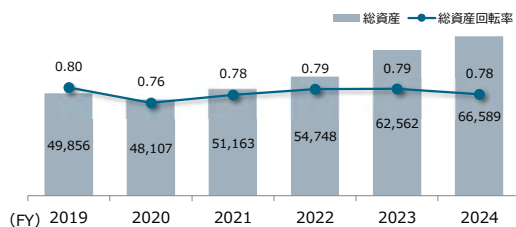


4. 補足資料

補足資料 財政状態

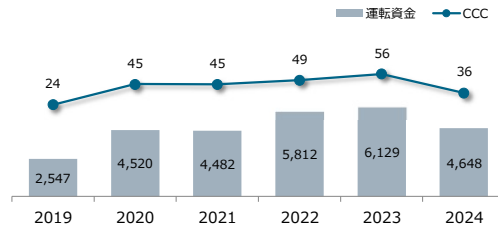


総資産 (単位: 億円)



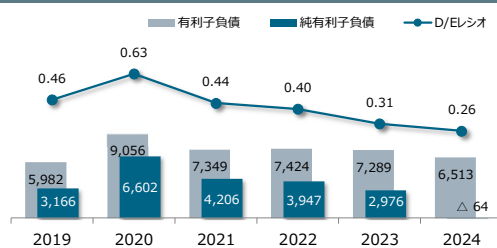
総資産回転率 = 売上収益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)

運転資金 (単位: 億円)

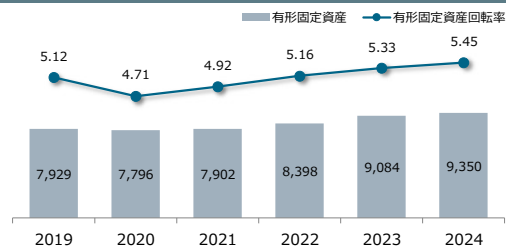


運転資金 = 売上債権 (契約資産を含む) + 棚卸資産 - 買入債務 - 契約負債 (前受金) の全社合計値
CCCはセグメントの運転資金 (前渡金を含む) と売上収益で算定

有利子負債 (単位: 億円)

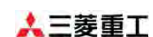


有形固定資産 (単位: 億円)



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料 参考データ



大型ガスタービン 受注台数・契約残台数

	2023年度	2024年度
米州	7	11
アジア	9	5
EMEA	-	9
その他	1	-
受注台数 合計	17	25
契約残台数	36	48

【参考】中国の協業先企業における受注台数

	2023年度	2024年度
受注台数	21	7

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	7	11	7	5	30
2024年度	6	6	2	5	19

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	0	1	3	2	6
2024年度	3	3	1	0	7

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
2023年度	9	7	13	14	43
2024年度	9	12	12	12	45

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料 参考データ



研究開発費、減価償却費、設備投資 (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
研究開発費	1,274	1,783	2,186	3,300
減価償却費	1,378	1,501	1,581	1,600
設備投資	1,507	2,004	1,945	2,000

販売費及び一般管理費 (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度
販売費	6,236	6,953	7,169

キャッシュ・フロー (単位：億円)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
営業キャッシュ・フロー	808	3,311	5,304	-
投資キャッシュ・フロー	△455	△1,310	△1,877	-
フリー・キャッシュ・フロー	353	2,001	3,427	△2,000
財務キャッシュ・フロー	△189	△1,589	△1,141	-

有利子負債、D/Eレシオ

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
有利子負債残高 (単位：億円)	7,424	7,289	6,513	7,000
D/Eレシオ	0.40	0.31	0.26	0.3

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料 参考データ



受注残高 (単位：億円)	2022年度	2023年度 ^(※1)	2024年度
エナジー	33,256	42,311	49,184
プラント・インフラ	15,092	16,224	17,053
物流・冷熱・ドライブシステム	548	583	793
航空・防衛・宇宙	11,718	24,742	35,145
その他及び全社又は消去	2	144	185
合計	60,618	84,005	102,362

(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

為替レート（売上計上平均レート）	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度見通し
USドル（円/USドル）	134.9	143.2	152.2	145.0
（参考）期末日レート	133.5	151.4	149.5	-

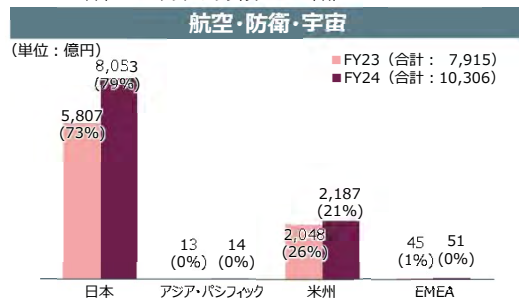
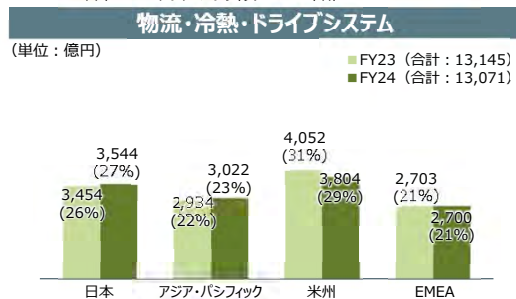
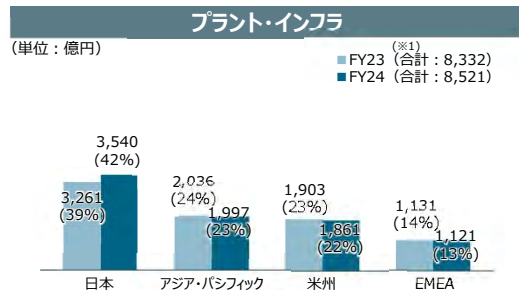
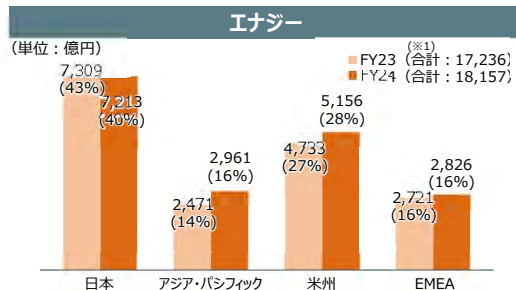
未確定外貨 (億通貨単位)	USD	EUR
未確定外貨（事業利益）	30	4
未確定外貨（金融収益費用）	8	1
前提為替レート	145.0	155.0

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料 参考データ



地域別売上高



(※1) FY23実績は、2024年4月1日のGXセグメント新設の組織再編の影響を2023年度に遡り反映した金額を記載

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

